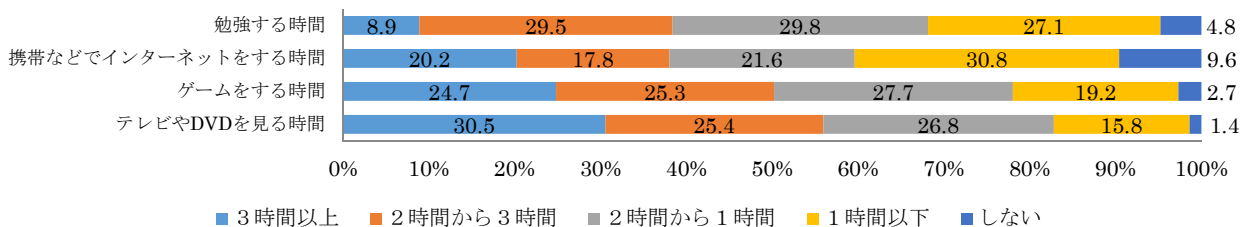


中学生の生活と学力の関連

学力調査と生徒質問紙の結果を関連付けて分析しました。このことによって、子どもの生活の様子や学習への姿勢が学力の定着にどのように影響しているかを知ることができます。

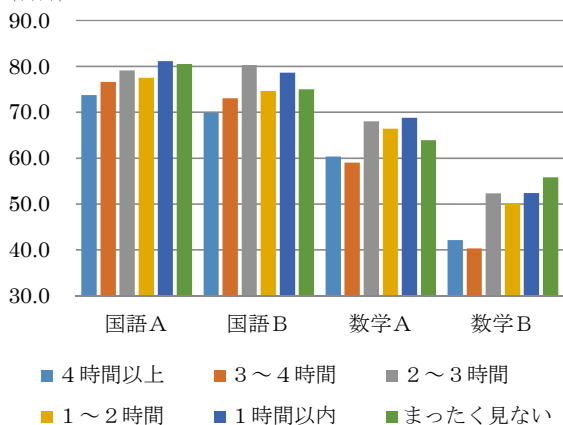
資料①

平日の家庭での過ごし方



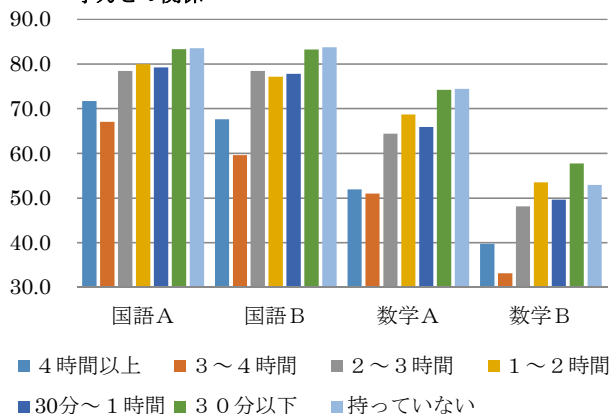
資料②

1日にテレビやDVDを見る時間と学力との関係



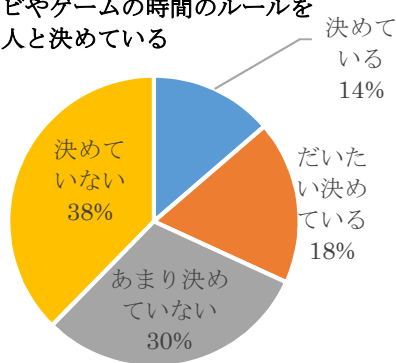
資料③

スマホや携帯で1日にインターネットをする時間と学力との関係



資料④

テレビやゲームの時間のルールを家の人と決めている



資料①からは、清水町の中学校3年生の半分ほどが、毎日少なくとも2時間以上をゲームやテレビの時間に費やしていることがわかります。調査の時期には部活動が行われていたため、帰宅後の多くの時間が使われていたと推察されます。勉強する時間は、3割程度の子どもが1時間以下(塾などを含む)と回答しています。

資料②及び③からも分かるように、テレビの視聴やスマホなどでインターネットをする時間と学力の定着状況には、一定の関係性があります。一方で資料④からは、時間のルールはあまり決められていないことが読み取れます。

ルールをしっかりと決めることで、生活にメリハリが生まれ、集中力が高まります。ルールを決めるときには、自分の将来像や、その実現のために今やるべきことなどを中心に、お子さんと十分に話し合い、お子さん自身の判断で決めることが大切です。さらに、ルールは定期的に見直していくと改善点が見つかり、より必要感の高いものへとなっていきます。また、今回の調査項目ではありませんでしたが、スマホなどはテレビなどに比べ、使用状況が家庭でも見えにくいので、お子さんの自律的な判断力を高めるルールづくりが不可欠であると言えます。

「全国学力・学習状況調査から見る清水町の子どもたち 2017」

編集 清水町授業力向上委員会 監修 清水町教育委員会(教育総務課) 発行 平成29年12月